

FastGene™ Gel/PCR エクストラクションキット

発行日: 2011 年 7 月 7 日

最新改定日: 2018 年 4 月 5 日 (Rev.3)

1. 化学品及び会社情報

製品名	FastGene™ Gel/PCR エクストラクションキット (FastGene™ Gel/PCR Extraction Kit)
製品番号	FG-91202、FG-91302、FG-94602、SG-401-0080FG、SG-401-0200FG
推奨用途及び使用上の制限	専門ユーザー向け生化学キット(試験研究用実験試薬)

供給者の会社情報	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽 1 丁目 4 番 14 号 後楽森ビル 18 階 電話番号: 03-3813-0961 ファックス番号: 03-3813-0962
緊急時連絡先	電話番号: 03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前 9 時から午後 5 時 30 分) E メール: info@genetics-n.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS ラベル要素	
絵表示又はシンボル	
注意喚起語	警告
緊急時の概要	
成分 1	警告！ 刺激性あり。飲みこんだ場合有害。皮膚がアレルギー反応を起こすことがある。動物データに基づき生殖系系に有害の可能性あり。水生有害性: 区分 2
成分 2、3	職業暴露による健康有害性は、殆ど又は全くない。
健康への悪影響の可能性	
眼に入った場合	軽微な刺激を起こすことがあり、涙が出、充血するが、眼組織に回復不能の損傷とはならない可能性がある。重度の刺激を起こすこともある。眼に入った場合、角膜の損傷を起こすことがある。不快感や痛みがある場合があり、過度の瞬きと過剰の涙が出てひどく充血し結膜腫脹を起こすことがある。一時的視力障害(はっきりせずぼやける)を起こすことがある。
皮膚に付着した場合	軽微の皮膚刺激、脱脂、皮膚炎を起こすことがある。回復不能の損傷を引き起こす可能性は低い。アレルギー性皮膚反応を起こすことがある。
吸入した場合	軽微な呼吸器の刺激、めまい、衰弱、疲労感、吐き気、頭痛を引き起こすことがある。重度の刺激及び組織損傷を起こし、気道に腐食性を示すことがある。肺に液体のミストを吸入した場合、急速に肺に吸収され特定標的臓器を損傷することがある。
慢性的な影響	発がんに関するデータなし。実験動物での大量投与試験に基づき、生殖系系に障害を起こす可能性のある物質を含む。

3. 組成及び成分情報

成分 1	結合バッファー GP1 : 1 本 成分: 50-100% グアニジンチオシアナート (CAS 番号:593-84-0) 10-25% 酢酸 (CAS 番号:64-19-7)
成分 2	洗浄バッファー GP2 濃縮液 : 1 本 表示濃度において危険有害性はない。
成分 3	溶出バッファー GP3 (10mM Tris-Cl, pH8.5) : 1 本 表示濃度において危険有害性はない。

4. 応急措置

眼に入った場合	頻繁にまばたきしながら、大量の水で 20 分以上眼を洗浄すること。 頭を傾け、無事な眼の方に化学薬品が入らないようにすること。 コンタクトレンズを外し、再使用前には洗浄すること。 直ちに医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに石鹸と大量の水で洗浄すること。 汚染された衣服を脱ぎ直ちに洗濯すること。 再使用前には洗浄し、汚染された革製品は廃棄すること。 刺激が強くなったり続く場合には、直ちに医師の手当てを受けること。
吸入した場合	新鮮な空気の場所へ移動すること。 呼吸が困難な場合には、熟練した人に酸素吸入してもらうこと。 呼吸していない場合には人工呼吸し、熟練した人に酸素吸入してもらうこと。 直ちに医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	成分 1: 吐き出させようとするのではなく、直ちに医師の手当てを受けること。 水か牛乳を 2 杯飲んで希釈させること。 直ちに医師の手当てを受けること。
医師への注意事項	症状に応じ治療を行うこと。

5. 火災時の措置

消火剤	二酸化炭素消火剤あるいは水散水(水噴霧)を使用すること。 大きな火災の場合には、水散水又は耐アルコール性泡消火器を使用すること。
消火技術/装置	爆発ガスや燃焼ガスを吸入しないこと。
腐食性	特になし

6. 漏出時の措置

漏出物の清浄	成分 1: 漏出物への暴露は、刺激性又は有害な場合がある。 個人用保護具の推奨事項に関しては本書項目 8.を参照のこと。 漏出物質、漏出量、漏出区域の面積など漏出によって発生する特別な状況により追加予防措置が必要なことがある。 漏出に対処する作業者の熟練度を考慮すること。 汚染された区域を換気すること。 安全に行えるのであれば、いかなる漏出の拡大をも防止し、人の健康や環境への危害を最小限に抑えること。 少なくとも、本書項目 8.の高性能で適切な個人用保護具を着用すること。 粒状土など適切な吸収剤で土止めを作ること。 廃棄物処理の審査まで密閉できる容器に回収、保管しておくこと。
--------	---

	成分 2、3: 漏出物を吸収する。 一般的吸収剤で効果がある。 適切な容器内に入れて廃棄処分すること。
--	---

7. 取扱い及び保管上の注意

保管する材料によっては、国及び/又は地方自治体の法令に規制されるものもある。	
貯蔵圧力	常圧
取扱手順	成分 1: 有害又は刺激性のある物質である。 接触や吸入を避けること。 換気の良い場所でのみ使用すること。 使用しない時は、密閉/被覆すること。
	成分 2、3: 使用しない時は、密閉/被覆すること。
保管手順	酸と混触させて保管しないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露限度		
成分	OSHA 許容暴露限界 (ppm)	AGCIH 時間加重平均 (ppm)
グアニジンチオシアナート	データなし	データなし
技術管理	本製品を取扱い使用する場合、過剰暴露を防止するために局所排気/換気あるいは他の技術的管理が必要である。	
個人用保護具		
眼の保護具	本製品の使用場所には、洗眼器を設置すること。 保護眼鏡を着用する。	
皮膚の保護具	使用状況により、耐化学薬品性手袋、エプロン、その他の保護具を着用し皮膚接触を避けること。 手袋は、化学薬品が通らないか検査し、規定された期限で新品に交換すること。 定期的に個人用保護具を洗浄すること。 作業終了時や飲食の前、手や他の暴露部位を刺激性のない石鹸と水で洗浄すること。 安全シャワーを設置すること。	
呼吸用保護具	不要	

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态)	液体/懸濁液
臭い	特有の臭い
比重/密度	データなし
引火点	100°C
融点/融点範囲	>121°C
沸点/沸騰範囲	121°C
燃焼範囲の上限(%)	データなし
燃焼範囲の下限(%)	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
揮発性	データなし

蒸発速度	データなし
粘度	データなし

10. 安定性・反応性

安定性	定常状態で安定
避けるべき条件	アルカリや酸化剤と反応する。
危険有害性分解生成物	有害性熱分解生成物の危険性がある。

11. 有害性情報

急性毒性	—
皮膚腐食性/刺激性	皮膚及び粘膜に刺激性あり
眼に対する重篤な損傷/刺激性	重度の眼に対する障害の危険性がある強い刺激性
特定標的臓器毒性	中枢神経系
発がん性	国家毒性プログラム(NTP/National Toxicology Program): 未試験 国際がん研究機構(IARC/International Agency for research on Cancer): 記載なし 労働安全衛生局(OSHA/Occupational Health and Safety Administration): 規定なし
その他有害性情報	実験動物での大量投与試験に基づき、生殖器系に障害を起こす可能性のある物質を含む。

12. 環境影響情報

環境有害性情報	
成分 1	水生有害性: 区分 2 水生生物に有害。 製品を地下水、水路及び下水道に流出しないこと。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	国及び地方自治体の規制に従い、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに業務を委託して処理すること。
------	--

14. 輸送上の注意

<p>国連出荷正式名: 未定 航空輸送: IATA DGR(国際航空運送協会危険物規則書)の対象外 副次的有害性: —</p>

15. 適用法令

成分 1: 結合バッファー GP1	
グアニジンチオシアナート(濃度: 50-100%、CAS 番号: 593-84-0)	
化審法	非該当
労働安全衛生法(安衛法)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
化管法/PRTR 法	非該当

酢酸(濃度: 10-25%、CAS 番号: 64-19-7)	
化審法	非該当
労働安全衛生法(安衛法) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(表示対象物)	化学物質名: 酢酸 表示対象裾切り値: 1 重量%未満
名称等を通知すべき危険物及び有害物(通知対象物)	化学物質名: 酢酸 通知対象裾切り値: 1 重量%未満
危険物(皮膚に対して腐食の危険性を生じる液体)	化学物質名: 酢酸
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	
第四類危険物(引火性液体) 第二石油類(水溶性液体)	引火点: 1 気圧で 21°C以上 70°C未満 ⇒引火点が ^g 100°Cのため非該当
船舶安全法	
腐食性物質(クラス 8)	品名: 酢酸(水溶液)
航空法	
腐食性物質(クラス 8)	品名: 酢酸(水溶液)
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律(海洋汚染防止法)	
海洋環境の保全の見地から有害である物質(ばら積み)	有害液体物質: Z 類物質 物質名: 酢酸 ⇒ばら積み製品でないため非該当
化学物質排出把握管理促進法(化管法/PRTR 法)	非該当
食品衛生法	
指定添加物	名称: 氷酢酸 ⇒氷酢酸ではないため非該当

成分 2: 洗浄バッファー GP2 濃縮液	
成分	表示濃度において危険有害性はない。

成分 3: 溶出バッファー GP3 (10mM Tris-Cl, pH8.5)	
成分	表示濃度において危険有害性はない。

16. その他の情報

HMIS (Hazardous Materials Identification System: 危険有害性物質識別システム) 評価: 0-4 Flammability(火災の危険): 0 Health Hazard(健康障害の危険): 2 Physical Hazard(反応性): 0
--

弊社が販売する試薬類は、試験研究用途向けに限定して販売しております。製品を取り扱う前に取扱説明書等を熟読し、専門知識のある技術者、研究者がご使用ください。本 SDS 情報は、徹底的な調査及び/または研究によって得られたものであり、推奨は専門的判断の慎重な適用に基づいています。また包括的とみなされるのではなく、ガイドとしてのみ使用されるべきものです。全ての物質及び混合物には、未知の危険性があるため注意して使用する必要があります。当社では、実際の方法、量、使用条件等を管理することができないため、本書に記載されている取扱いまたは製品との接触に起因する損害賠償責任は一切負いません。本 SDS の情報は、市場性や特定目的適合性の黙示の保証を含め、明示的にも黙示的にもいかなる保証をするものではなく、また品質を特定するものでもありません。

略語

- ACGIH(American conference of Governmental Industrial Hygienists) : 米国産業衛生専門家会議
- CAS(Cheical Abstract Service) : ケミカル・アブストラクト・サービス

- CFR(The Code of Federal Regulations) : 米国連邦規則集
- GHS(The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals) : 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム
- HMIS(Hazardous Materials identification System) : 危険有害性物質識別システム
- IATA DGR(International Air Transport Association's Dangerous Goods Regulations) : 国際航空運送協会危険物規則書
- OSHA(Occupational Safety and Health Administration (USA)) : 米国労働安全衛生局

引用文献及び参照ホームページ等

化学物質規制・管理実務便覧（化学物質管理実務研究会編集、新日本法規出版株式会社出版）
NITE 化学物質総合情報提供システム（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）

以上